

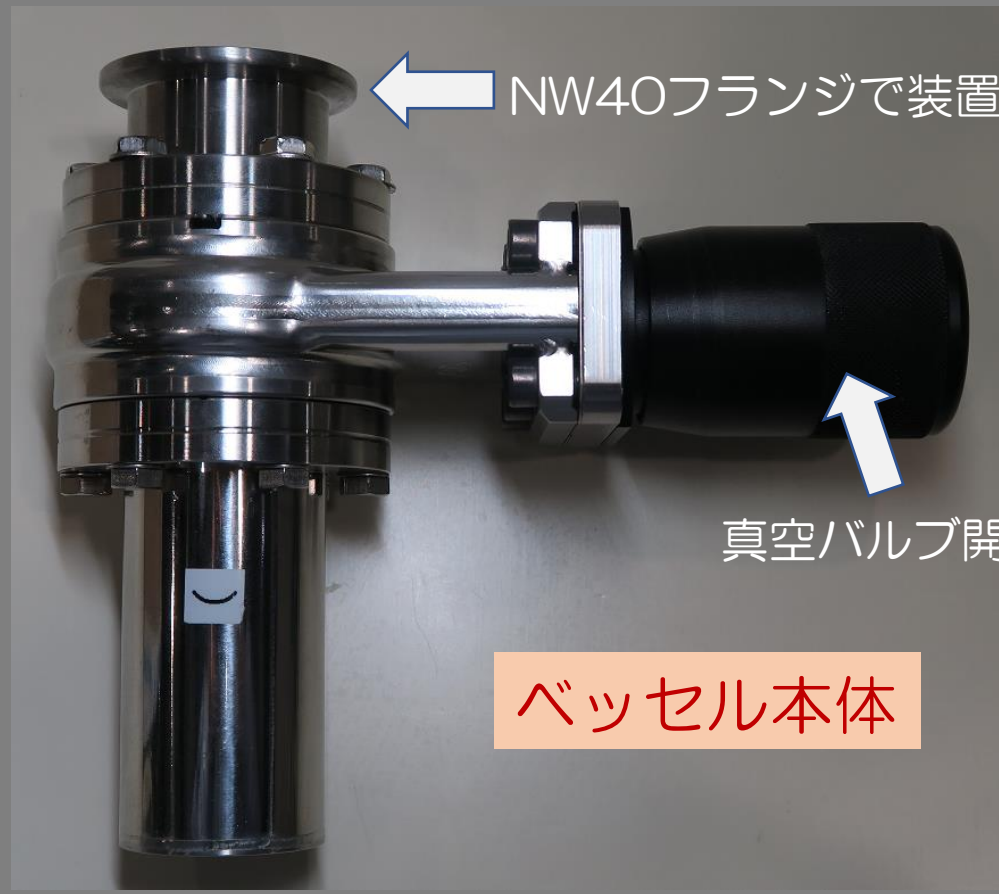
# AichiSR BL1N2

## トランスファーベッセルの使用法

※ AichiSRの軟X線ビームラインで共通型のトランスファーベッセルですが、各ビームラインによって運用方法や試料準備の仕方が異なる場合があります。使用予定のビームライン担当に確認をお願いします。

2020年4月

# トランスファーベッセルの構成



NW40フランジで装置と接続

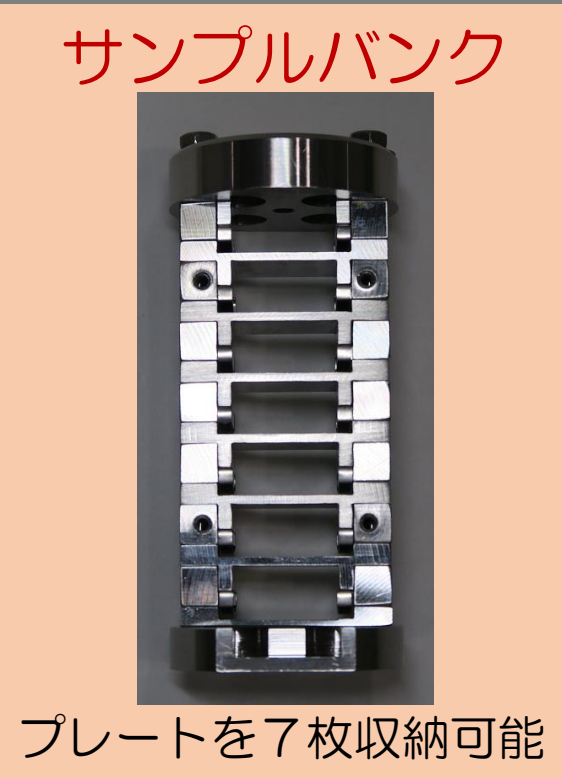
真空バルブ開閉

ベッセル本体



サンプルプレート

試料を固定

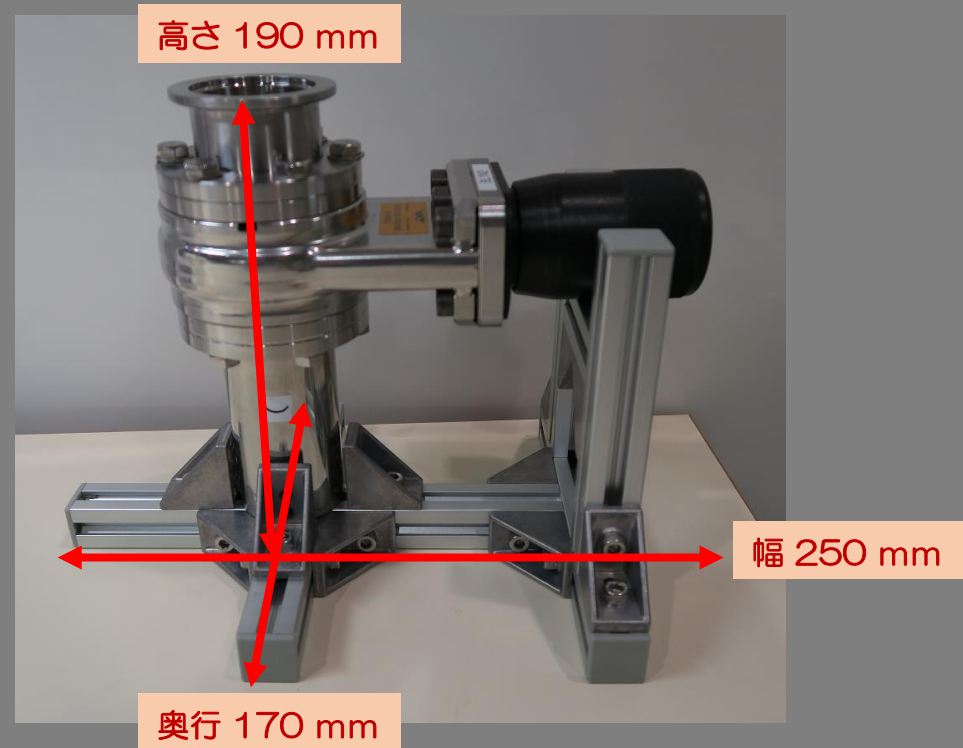
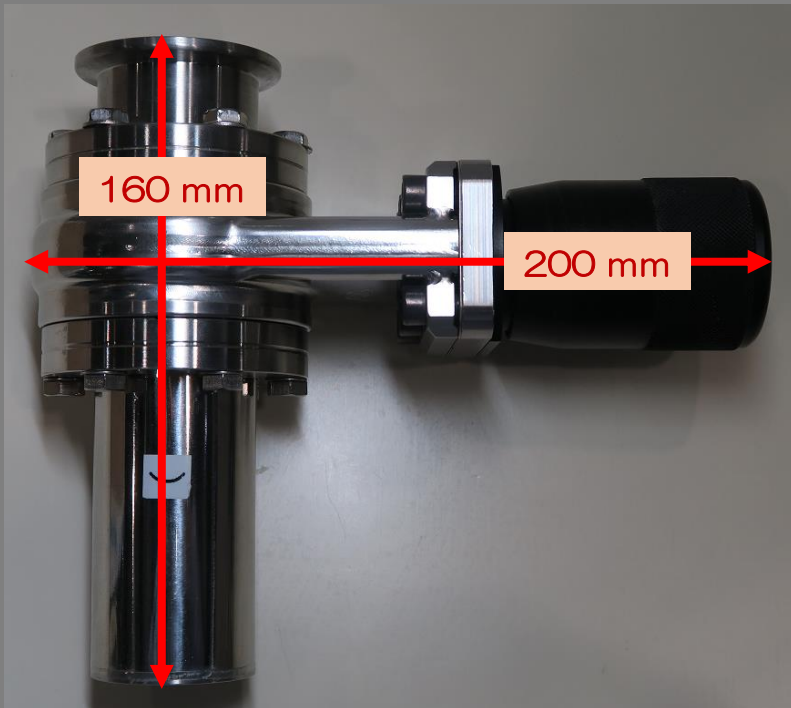


サンプルバンク

プレートを7枚収納可能

# 全体の大きさ

大気被ばく露での試料搬送を目的とする装置であり、真空装置やグローブボックスと組み合わせて使用することになる。  
ベッセル導入時の参考となるサイズを以下に示す。



# 1. サンプル準備

カーボン導電性テープ等でサンプルプレート上に試料を固定する。

(注意点)

①取っ手を左向きにして準備する。

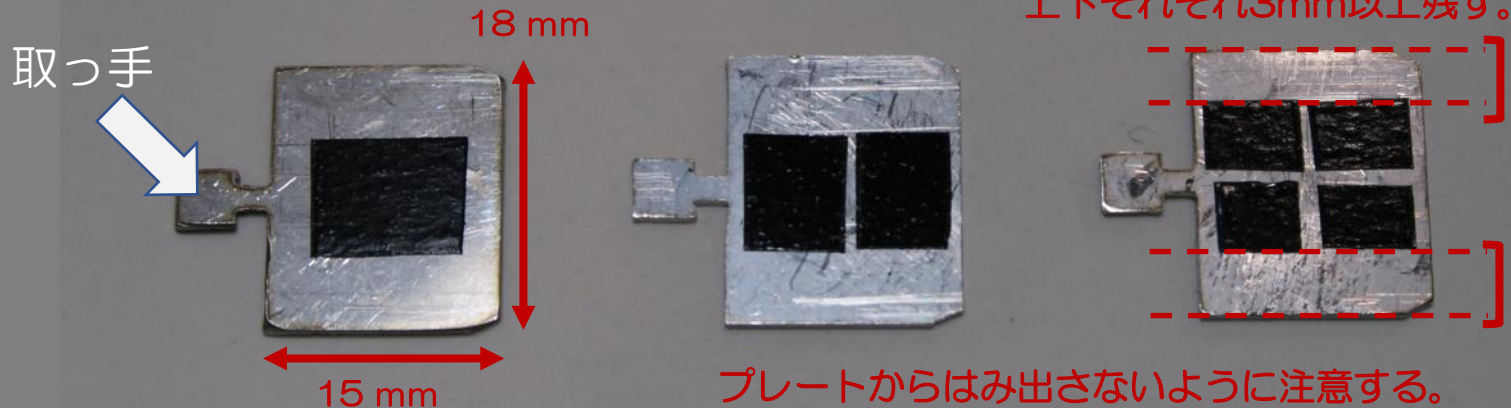
測定位置でのカメラで見た場合の上下左右と一致し、位置調整が容易になる。

②上下3mm以上の空きスペースを残す。

試料輸送時にサンプルホルダのバネ板が挿入されるスペースが必要となる。

③高さは3mm以下に調整する。

## サンプル準備の例

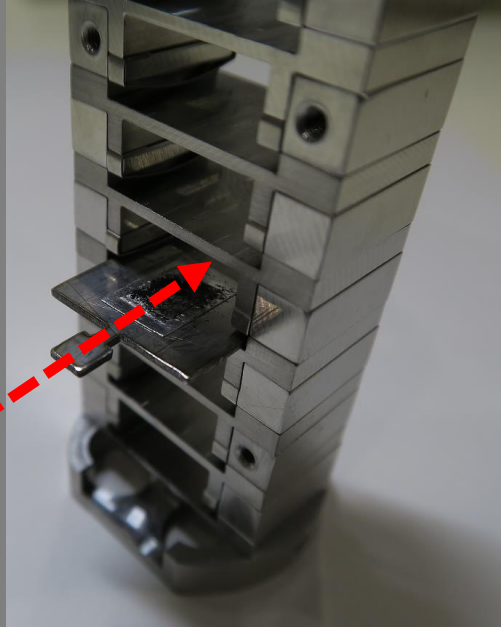


サンプルホルダ  
(測定位置)



# 2. ベッセルへの収納

## ① サンプルバンクへの挿入



※背板のない側から入れる。

## ② ベッセルへの収納



バルブを開けた状態で、ベッセルに挿入する。

バルブを閉じる。

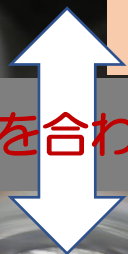
# ※バンク収納時の注意点

回転防止のため、バンク下面は欠けた円形状になっている。バンク底にも同様の溝加工をしており、溝にはめ込み回転しないのを確認することが重要である。



バンク下面

形状を合わせる。



挿入したら、  
回転しないことを確かめる。

ベッセル底

※ベッセル外側には、  
方向を示している。



弦の方向



円弧の方向

### 3. ケースへの収納

専用ケースを用意している。

以下のように、ベッセルと付属機器を収納し、ビームラインまで持ち込む。移動時にバンクがベッセル底のストッパーから外れることを避けるため、ケースは極力傾けないように気を付ける。



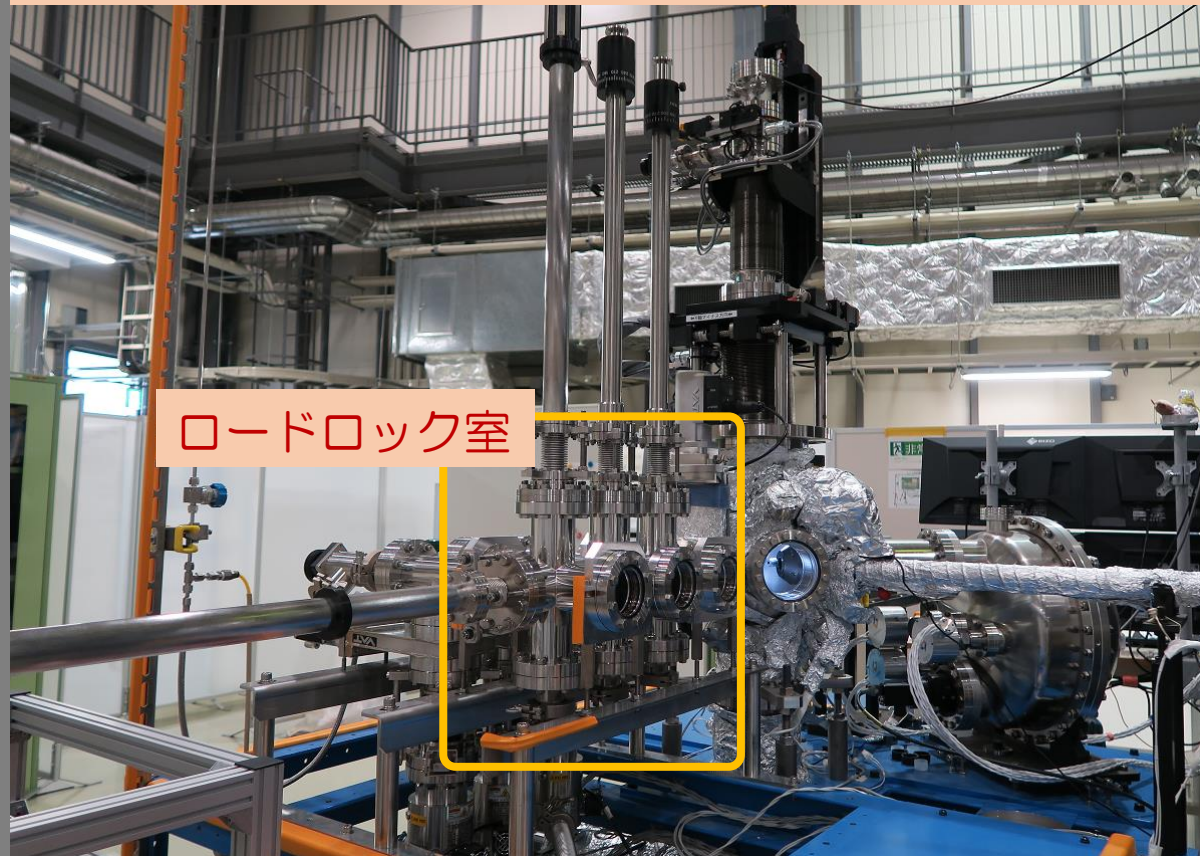
- バンク収納済みトランスファベッセル
- ベッセルの台
- 鉗子
- ベルト

等が入っている。

## 4. ビームラインへの取付け

ロードロック室のNW40取付ポートに接続、チャンバ側をN<sub>2</sub>ガスで十分に置換した後、真空バルブを開ける。トランスファーロードでバンクをベッセルから取り出して、ビームラインへのインストールが完了する。

AichiSR BL1N2 エンドステーション



ロードロック室